

令和5(2023)年度

第2回 栃木県地域公共交通活性化協議会

前回協議会について

1. 前回協議会（令和5年度第1回）の開催概要

1

開催日時	令和5年8月10日(木) 10:00～12:00
開催場所	栃木県庁 北別館403 会議室
会議形式	ハイブリッド(対面とWEB)会議
議題	(1)令和4(2022)年度栃木県地域公共交通活性化協議会の開催状況について (2)令和5(2023)年度第1回地域部会の開催状況について (3)栃木県地域公共交通計画(仮称)について (4)令和4(2022)年度栃木県地域公共交通活性化協議会の収支決算について



- 4つの議題のうち、「(3)栃木県地域公共交通計画(仮称)について」について、主な意見と対応方針を以下に示す。

議題	主な意見等	対応方針
➤ 公共交通の課題	➤ 昨年度序盤で議論があった利用集中による過大な設備投資や人材確保といった課題や、利用が見込まれるエリアとそうでないエリアについても、資料に含めていただきたい。	➤ 「ピークとオフピークの差の平準化（企業や観光事業者等との連携）」という課題を追記
	➤ 「育てる」という目標について利用促進が重要だと考えているが、資料3-1、3-2の課題だけでなく、過去に利用促進のため行ってきたことについて、何か課題があったか整理したうえで検討する必要もあると考えている。	➤ 「③利用促進に係る課題」を再検討
	➤ 4-2と4-3で公共交通を利用しない方に利用してもらう工夫、通勤通学の公共交通の分担率が低い点は、物理的に公共交通がない地域だと移動制約者という意味ではよいが、公共交通があるのに利用していない場合に利便性が悪いという理由だと「②利便性向上に関する課題」の方ではないか。利用できないとか、したくてもできない、そういった表現の方が整理としてわかりやすくなると考えている。	➤ 「②利便性向上に関する課題」「④移動制約者への対応に関する課題」を再検討
➤ 公共交通の目標	➤ 目標①の「広域的な」というキーワードについて、栃木県の目標なのかそれとも全県の目標なのか。全県の目標であれば、施策として県は広域的なところ、市町は地域のネットワークといった建付けでいいと感じた。	➤ 県全体の公共交通の目標として整理
	➤ 目標としては、全県の方が肌感覚として多い印象である。その目標の中で、市町村との役割分担に繋がっていくと考える。	
	➤ 目標③「交通事業者・市町の人材不足・財政負担などの課題に応じた県の支援制度を整備する」について、目標①②の記載と比較し、より具体的な施策のように書かれている印象を受けた。	➤ 目標内の記載からは削除

1. 前回協議会（令和5年度第1回）の開催概要

3

議題	主な意見等	対応方針
<p>➤ 目標達成のための施策</p>	<p>➤ 情報提供に関して、主要駅におけるバス案内表示の統一化とすると、主要駅以外のところは案内表示統一化しなくてもいいと見えてしまう。簡単なもので構わないが、情報の統一化ガイドラインを県に作成いただければ、市町としても動きやすいと感じている。</p>	<p>➤ 分かりやすい乗換案内掲示のための方針を施策2-3に位置づけ、ガイドラインを作成予定。</p>
	<p>➤ 駅までの末端交通を二次交通と言うが、医療の世界では「一次診療」は身近なかかりつけ医のことを指す。同じように考えると、自分の家からの身近な交通は「一次交通」であり、それが広域的な公共交通ネットワークと結びついていくべきである。「広域的」には県の責務が大きいと理解しているが、自宅からの「一次交通」との有機的な連携が読み取れるような、そこに結びつくような施策が出せるような資料にしたい。</p>	<p>➤ 「自宅から目的地までを結ぶ交通モードとの有機的な連携」を施策1-3に位置づけ</p>
	<p>➤ これまでバス等の利用促進についてのご意見が多かったが、場所によってはオーバーツーリズムの観点で利用を抑制していく必要がある。施策の中にMaaSやシェアサイクルが挙げられているが、これ以外の方法で利用を一部抑えることも検討していく必要があるため、まずは窓口を設けることをご検討いただきたい。</p> <p>➤ 周遊ルート工夫する考え方は実例がある。インバウンドの観光客に対してツアーの行程を伺い、観光ルートとして「銀座が先か、浅草が先か」という整理を行い、観光客に対するマネジメントを行うことで、観光バスの駐車対応が可能になる等を調査した。以上のことを踏まえ、やはり観光交通におけるマネジメントは、栃木県の場合、特に高校生の通学と重なる点の指摘を頂いていることから、文言として記載ができればと考えている。</p>	<p>➤ 施策2-5に「オーバーツーリズムに対応した観光交通マネジメントの推進」を位置づけ</p>
<p>➤ 評価指標</p>	<p>➤ 公的資金投入額は国の標準指標ではあるが、収支率や利用者数と比べると一段下であり、他の自治体ではあえて入れていないケースもある。何を対象として指標にしていくかは、次回具体的な数値を見て議論したい。</p>	<p>➤ 公的資金投入額は評価指標から除外</p>
<p>➤ 公共交通ネットワーク</p>	<p>➤ STEP1について、基幹交通軸、基幹交通結節点となっているが、南関東地方と繋ぐという意味では、基幹ではなく“広域”ではないのか。文言の再整理が必要と考えている。</p>	<p>➤ 広域交通軸、広域交通結節点に修正</p>
	<p>➤ 緩和措置がなくなり国の補助がなくなると、全て県が補助をすることは困難であると考えている。ネットワークについては補助路線で検討しなくても良いのではと考えている。しかし、県としての県単補助の考え方もあることから、宿題として再整理頂きたい。</p>	<p>➤ 補助の有無に関わらず、市町を跨ぐ路線を対象に整理</p>

2. 今後のスケジュール

- ✓ 12月にパブリックコメントを実施予定のため、11月中に計画(素案)に関する書面協議を実施。
- ✓ 引き続き協議会・地域部会において協議した上で、令和6年3月の計画策定・公表を目指す。

